

第8期第4回 新潟市中地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和5年2月20日（月） 午後1時30分～3時

場 所： 新潟市中地区公民館 講座室

出席者： 新潟市中地区公民館運営審議会 安久津委員、石井委員、上出委員、遠藤委員、津野委員、永井委員、野本委員、村山委員、安原委員

事務局： 中地区公民館（佐藤・池田）、石山地区公民館（山田・小野）

1 開 会

中地区公民館長 あいさつ

議長 あいさつ

2 議事

(1) 令和5年度事業に関する委員提案について

(各委員) 各委員から提案内容について説明

(委員) (東区ガイドマップについて) 立派なものを作るより、手書きのイラストなどがある、可愛い手軽なものにしてはどうか。

(委員) これまで作られたものでは、小学校単位のまちあるきマップなどがあるが、ほとんどはもう使われていない。それを復活して再活用するという方法もある。また、工業・商業という観点のマップもある。我々は郷土史の歴史サークルなので、歴史を主とした皆さんの興味が湧くようなものを作りたい。1回作って終わりではなく、また、東区全体を網羅したものを作っていく。

(委員) 文章も若い人、子どもをターゲットにして、硬くならないようなものにして欲しい。

(委員) 歴史の観点から、あまりくだけた表現にするのは難しいが、コンセプトは、中学生でも理解でき、総合学習で使えるものとした。

(委員) (シニア絵手紙教室について) 小さい絵だから手軽にできる。

(委員) すでに絵手紙のサークルがあるが、新しく作った方が入りやすい。

(委員) (シニア料理教室について) 材料を自分で用意するところからやった方がいい。自分の家に帰ってからでも作れるものがいい。

(委員) やり方としては色々あるが、今まで厨房に入ることがない人が、ステップ1目玉焼き、ステップ2卵焼きなど。

(委員) 料理をほんとにやったことのない人は、包丁の使い方、野菜の洗い方も分からない。卵もきのこも洗う。基本的なことから始めて、それが出来たら次へ進んでいく。

(委員) (認知症サポーター養成講座について) 認知症をカミングアウトすると聞いたが、自分で分かるのか。

(委員) タイプがあり、老化によるものと病気によるものがある。脳梗塞だと分かる。自分で理解している。老化によるものだと、認知症とも忘れ、自分も忘れ、最後は日本語も忘れる。アルツハイマーだと50代でも認知症になる。認知症は、自分の親で体験ができるから準備ができる。それが自分に降りかかって来た時に、話を聞きに行く機会があればいい。

(委員) 薬が開発され、いかに早く自分で症状を分かって治療を受けるかで、進行を遅らせることができる。

(委員) 認知症の家族を抱えた人や、地域で高齢者をどう支えるのか、サポーター養成に焦点を当てるといい。

(事務局) 委員提案に対する事務局からの説明

(2) 令和5年度事業計画について

(事務局) 令和5年度事業計画について説明

(3) 令和5年度予算の策定状況について

(事務局) 令和5年度予算の策定状況を説明

(委員)

この資料を見て愕然とする。家庭教育が大きく減っている。区・市がどのような考えを持って予算配分しているのか。今あるものをすべて維持していくのか、重なるものをどうするのか。区としての持ち味、区として特化したものを検討していく時期が来ている。

相反するが、予算が無くても地域人材を活用してやっていく。ボランティアなど活用される側のやりがい、生きがいを担保に積極的に活用していく。

(事務局)

今年度は、乳児期家庭教育学級での保健師の活用について、本庁、区役所、公民館で検討してきた。令和5年度には本庁（子ども未来課）と役割分担をしたモデル事業を行う。

地域人材の活用ということでは、例えば、東区ガイドマップ作りでは、歴史サークルの主体的活動の中で良いものを作り、区民の皆さんに喜んでもらうことで、サークルの方のやりがいになるものと思う。

(委員)

新潟市自体が公民館をどう考えているのか。将来長期的にどのようなビジョンを持っているのか。お金だけ減らして、ボランティアでやりなさいと言っても限度がある。新潟市は公民館をなくすのか、あるいは統合していくのか、コミ協とダブルところもある。東区のコミ協予算も、公民館予算も厳しくなっている。

(事務局)

本来の公民館の役割は第一義的には、地域の人が集まって、地域の課題を解決する、地域活動の拠点であると思うが、政令市となり、コミ協が小学校単位で作られ、地域課題を解決する組織としての役割を持ち、身近な区役所と課題解決についてやりとりをしている。また、公民館の貸館と同じ建物にまちづくりセンターなどが入って貸館業務を行っている。公民館とコミ協との役割を整理していく必要がある。

本来、教育委員会として社会教育の役割、公民館のあり方を早いうちに打ち出せば良かったのだが、現在、中央公民館が主体となって検討しているので、新年度に何らかの方針が出せるのではないかと思う。地区の公民館は、この地域でも、大形公民館が無くなり、木戸公民館も老朽化している。公民館が地域の活動拠点としての役割が薄くなってきているが、地域の活性化に資する事業に積極的に取り組んでいきたい。

3 その他事項

・なし

4 閉会

【配布資料】

第8期第4回中地区公民館運営審議会 会議次第（事前配布）

令和5年度事業に関する委員提案（資料1 事前配布）

令和5年度事業計画（資料2-1、2-2 事前配布）

令和5年度東区公民館事業予算（資料3 当日配布）